

Ⅱ 震災編

第1章 災害想定

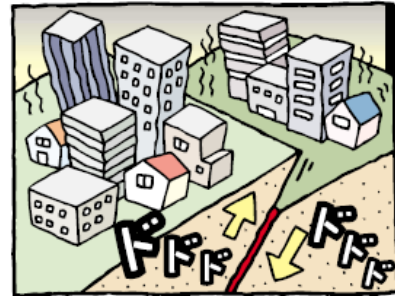
1 内陸活断層の地震

内陸活断層地震とは、陸地の地下（ユーラシアプレート内部）で活断層がずれて起こる地震です。

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）がその代表例です。

（特徴）

- 揺れている時間が短い（10秒から数十秒）
- 震源が浅いため、断層の近くでは揺れが激しい
- 千年から1万年程度の間隔で発生する



（1）今後、発生が想定される地震



今後、発生が想定される地震帯

- ◆上町断層帯地震
- ◆生駒断層帯地震
- ◆有馬高槻断層帯地震
- ◆中央構造線断層帯地震

※内陸活断層地震のうちで特に阿倍野区に甚大な被害が心配される上町断層地震は、都市直下型地震で、マグニチュード7クラスに達し、最大震度6強と想定されています。上町断層は、豊中市から大阪市域の中心部を通り、岸和田市にまで至る長さ42キロメートルの活断層です。今後30年以内の発生確率は、2～3%と予想されています。

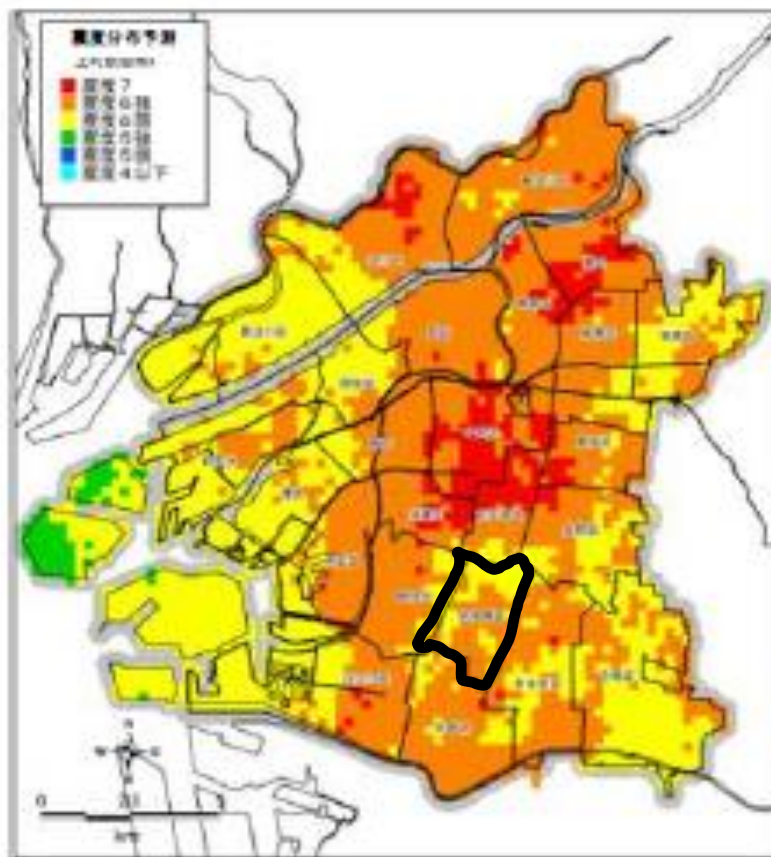
この確率はあまり高くないと思われるかもしれませんが、阪神淡路大震災の発生確率は5～8%といわれていました。確率が低いからといって油断するのではなく、いつ起こるか分からないという意識を持って普段からの備えをしておきましょう。

(2) 阿倍野区において想定される内陸活断層による地震の被害

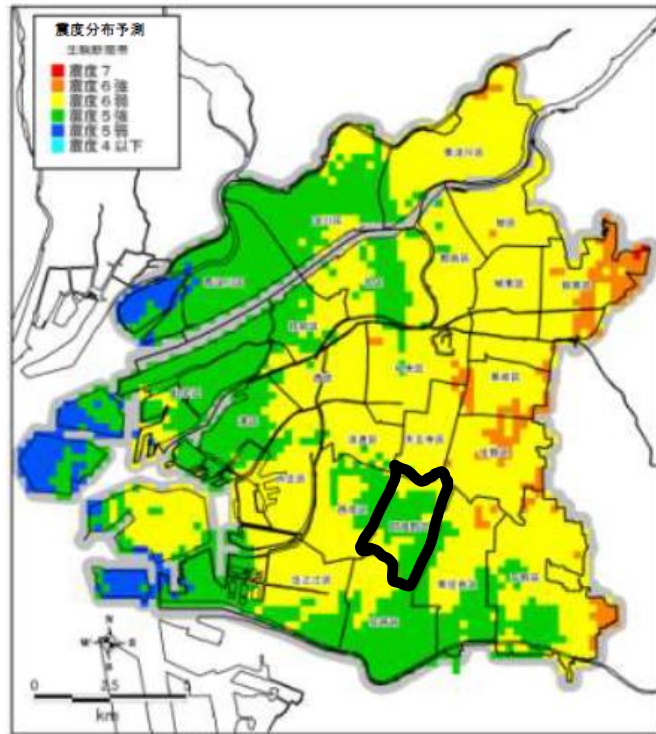
活断層の名称	地震規模	阿倍野区において想定される被害等			
		震度	死者数	建物の全半壊	避難想定者数
上町断層帯	7.5～7.8	6強～6弱	157	12,389	12,185
生駒断層帯	7.3～7.7	5強～6弱	12	3,509	3,189
有馬高槻断層帯	7.3～7.7	5弱～5強	0	25	30
中央構造線断層帯	7.7～8.1	5弱～5強	0	48	52

内陸活断層による地震の震度分布

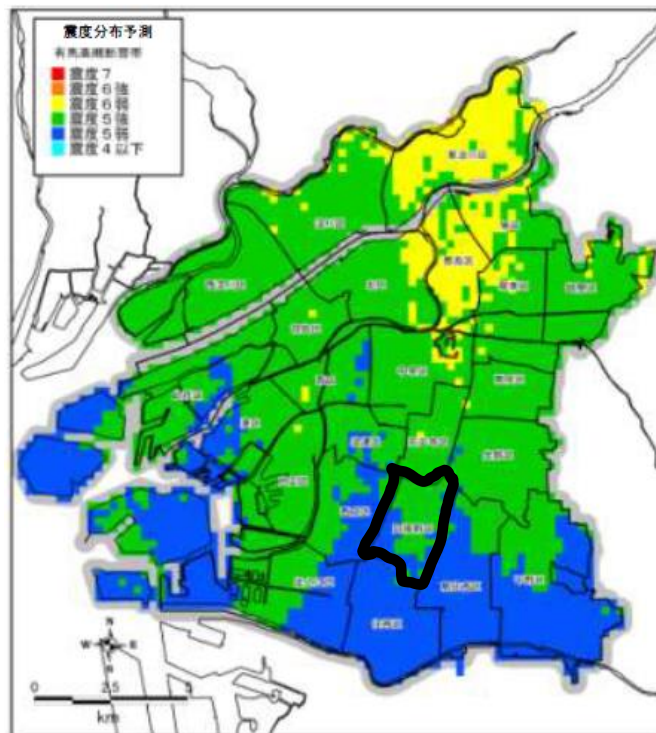
① 上町断層帯地震



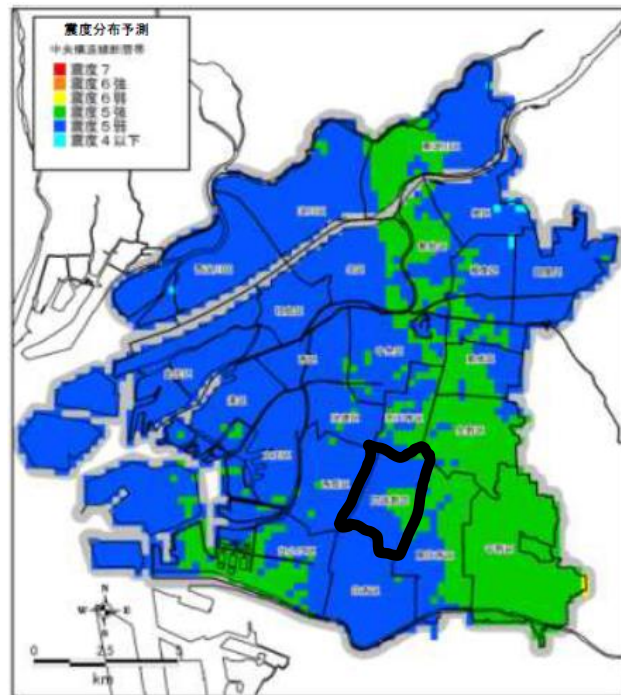
②生駒断層帯地震



③有馬高槻断層帯地震



④中央構造線断層帯地震



もっと詳しく知りたいという方は、
インターネットで次のサイトをご覧ください。
マップナビおおさか

(<http://www.mapnavi.city.osaka.lg.jp/webgis/index.html>)